



皆さん、聞きなれない言葉ですが「樹霜」をご存知でしょうか？ 昨年（2016.03.10）に野辺山でも見られた気象現象です。調べてみたところ「霧氷の一種。夜間、放射冷却した樹木などの表面に空気中の水蒸気が昇華し、氷の結晶となって付着したもの。氷の結晶は針状、板状、コップ状など」とありました。私の個人見解ですが、ここ野辺山は全国有数の「春の訪れが遅い」地域です。2001年の5月3日に約30cmの積雪になったこともあります。桜の便りが方々で聞かれても、野辺山ではまだ気配すらありません。それより「車のスタッドレスタイヤ、いつ頃に外そうか？」と毎年、悩んでいます。

MAR 2017

冬のアニマルトラッキング

雪上の宝探しを体験

園部 守

定年退職を期に松原湖高原の山荘で多くの時間を過ごすようになって、ここ数年は薪づくりにはまり、毎年丸太を入手し、玉切り、運び上げ（我が山荘は駐車場から 8 メートルほど高い位置にあるため、玉切りした材を背負子に背負っての運び上げとなる）、薪割り、収納の一連作業が秋の恒例作業となっていました。

今年はたまたま 5 トンものナラ材が格安で手に入ったので、秋に畑仕事の合間、横浜との往復をしながら何とかすべて終了しました。収納場所の関係で今後 1～2 年は薪作業が不要になるとか思われたので、来年の秋の楽しみのために森林ボランティアでもやろうかとネット検索していたところ、たまたま「森の恵み会」の薪づくり体験会がヒットし、その場で入会して早速参加しました。チェーンソーや斧の扱いや手入れ方法、などさすがに「プロの技」と感得しました。

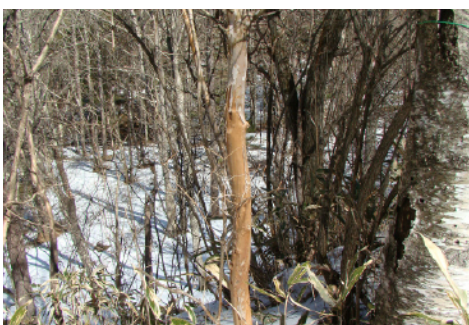
次回 2 月 26 日にはアニマルトラッキングを実施するということで、これまた雪の降るたびに山荘周

辺やテラスにまで小動物の痕跡が多く見られながら、動植物にはとんと疎く、別荘地の木々も、冬に落葉してしまえばそれこそ落葉松と広葉樹の区別もつかず、山荘に來訪する小鳥たちの種別も全く判別できない私にとって、天恵の企画と言うことで参加することにしました。

2 月下旬は本来ならば一番積雪の多い時期。アニマルトラックを追いながらのスノーシューでの野山歩きを楽しみにしていたのですが、残念ながら直前の木曜日に大雨が降り、気温も上昇したため雪解けがすみ、解け残った雪上のわずかの痕跡を探すというアニマルトラッキングとしては最悪のコンディション。それでも、当日はピーカン。風もなく春間近という日差しが降り注ぐ快適な一日となりました。

10 時 10 分に管理棟に集合、若干の説明を受けた後、全員で車に分乗川上演習林に向かいました。川上演習林では雪解けで凍結した林道を、アニマルトラックを求めて 2 時間ほどフィールドワーク。上述の最悪のコンディションの中でも、ご案内いただいた藤岡先生や杉山さんのお蔭で、普段なら何気なく見過ごす道ばたの足跡や、笹や木に残された鹿の食痕、角の研ぎ痕、兎や鹿の糞などを発見、まさに雪上の宝探しとなりました。

鹿が増えると再生力の劣るスズタケが減り、再生力の優れたミヤコザサが増える、というお話や、群れで動く鹿は先行する鹿の足跡を忠実に追うというお話など、初めて聞く話に感心し、鳥を見るたびに鳥の種類を言い当て、樹種を識別するスタッフの皆さんに目を見張りながら、フィールドワークを無事終了。その後は野外活動棟に戻って昼食。今回はそれぞれ持参したお弁当を、杉山さん自慢の新兵器ケリーケトルでわかしたお湯で、事務局で用意の





カップスープを頂きながら、温かい日差しを浴びながら食べました。

その後、今年の活動を振り返って意見交換。チャットワークを活用した交流・活動の活発化や、本来の目的の一つでもある演習林の活動へのお手伝いなど様々な意見が出され、今後の活動に生かしていくことが確認されました。

追記ながら、翌朝松原湖高原ではうっすらと雪景色。早速昨日の復習ということで別荘地内でアニマルトラッキングを行いました。

畑で育てる食べられる植物や、丸太になった薪材ばかりでなく、別荘地の草木や動物にも関心をもつきっかけになった一日でした。今回もまたお世話いただいたスタッフの皆様に感謝申し上げます。



アニマルトラッキングに参加

権守 均

背後より私を呼び止める声。嫌な予感。藤岡先生である。「いつもご夫婦で参加頂きまして・・・」今回のアニマルトラッキングの感想や報告文を書いてくれませんかとのこと。嫌な予感が的中。

心臓の弱い私にとっては心拍数が一気に 120 に上がる。何となく汗が滲むのを感じる。そもそも今朝 2 時半まで友達が遊びにきていて飲んでいた。

友達をそっちのけにして布団からそのまま這い出して、かけつけた森の恵みの会アニマルトラッキング。何の用意もないのである。

と言うわけで、2月26日朝10時10分頃管理棟にて藤岡先生より本日のスケジュール等の説明あり。説明では10時20分川上演習林に移動。10時40分頃歩きながら動物の足跡、痕跡などを探す。14時頃野外活動塔にて焚火と昼食。15時から意見交換会と先生の説明。

私は杉山先生の車に同乗させていただく。シャトレーズスキー場の駐車場を過ぎると、角パイプでできたゲートを通りゆっくりと進み目的地の駐車場に

着く。緩やかな坂道の林道に雪が融けて凍ったところが、ところどころにある。朝10時を過ぎたとはいえ、静かに緊張した空気がそこにはある。しばらくすると1台、2台、3台・・・と会員を乗せた車が到着。約20名が集い何となく活気がつく。

整備された林道を登り始める。左右に植林されたカラマツ林、所々に残る北面の雪、実生の雑木、低木、まっすぐ伸びたカラマツの間に太陽の光が差し込む。秋のカラマツの紅葉も好きだが、早春のカラマツ林のこの風景は特に良い。

早速、「足跡はなんだろう」という声がする。藤岡先生はその見慣れた足跡に「鹿です」と、次いでその理由を説明された。足の蹄の形を先生の右手で表し雪面についた足跡と同じようにする。具体的である。誰にでも分かる。立ち枯れた何本かの木の幹にフィールドサイン。先生の説明によると樹皮を食べた跡、鹿の角を研ぐ跡、体をこすりつけた跡、それぞれの違いがあると言う。ご自身の頭や体を使って鹿の真似をしてみる。これも具体的である。確かにそう思う。

杉山先生がマウンテンゴリラの鼻糞ほどの野兎の糞を拾ってきて、ウサギの糞と狸(?)の糞の違いを説明された。会員から笑いが出た。

帰り道、誰かが小鳥の巣を差し出して「これはなんの巣ですか」と質問。名探偵藤岡先生と質問者で会話が繰り広げられる。「これはどこにありましたか」「上の方です」「ではそこへ行きましょう」「誰が見つけましたか」「そこはどんなところでしたか」「ちょっと分かりません」「その巣は、どこにあったものですか。そこにあったものですか。どこからか飛んできたものですか。落ちてきたものですか。それが知りたい」・・・と質問を続けた。結局、その場





所には行けなかったものの、藤岡先生のその質問に多分私だけではなく、名探偵コナンと化した藤岡先生の推理力に「流石、なるほど」と思ったに違いない。

林道からゴルフ場の一部が見える。冬でクローズの芝から春の気配を感じる。木々の間から赤岳、横岳も静かにそこにある。光を浴びて青い空と雪の白さが、稜線をくっきりと浮かび上がらせている。

昼食はカップ麺、スープ、コーヒーなどいろいろと準備をしていただき、遠慮なく暖かく頂くことができました。いつもおんぶに抱っこで申し訳なく思っている次第です。

余談になりますが、小さい頃猟師に連れられウサギを捕りに行った。ウサギは全速力で逃げる。もう大丈夫だと思って立ち止まり振り向く。その時を待ってドンッと撃つ。後ろ足を掴んで持ち帰る。今夜は暗闇鍋だ。CWニコルさんの話を聞きに行ったとき、ウサギの腸を取出し割り箸ほどの棒を腸に入れてひっくり返す。腸の内側をきれいに洗う。イワナを焼くように塩をふって囲炉裏で焼く。塩をふっただけで焼き鳥を食べるように口の中に入れる。珍味だとCWニコルさんは言っていた。

井波先生、杉山先生、ウサギを捕まえたらぜひやってみましょう。お願いします。



次回のイベント予定

2017 年度初回のイベントは、5 月 13 日（土）に総会と植林（ミズナラ苗木の植え付け）、山菜採りという組み合わせです。野辺山のすがすがしい春を楽しみましょう。

昨年度と違って、土曜日開催で昼食持参ですからご注意ください。タラノメやウドといった山菜は自由にお持ち帰りいただけます。

開催日時：2017 年 5 月 13 日（土）

プログラム：10 時前より受付開始、10:10 から総会、その後苗木植え付けと昼食、最後に山菜採り。終了は 16 時頃。

集合場所：筑波大学八ヶ岳演習林管理棟（恵みの森構内）

服装・持ち物：帽子・長袖・長ズボンにトレッキングシューズや長靴と革手袋または軍手、タオル。山菜を入れる腰かごや袋。昼食と飲み物。

事前連絡：必須とはしませんが、参加する方は前々日の 11 日までに事務局までご一報いただくと助かります。

その他：雨天の場合でも総会はいき、その後は天気の様子を見ながらやれることをやります。

委任状：総会に出席できない方は委任状を郵送またはメール添付で提出していただけると幸いです。形式は自由ですが、ホームページに簡単な様式を載せてあります。

イベント時以外の活動

イベントは年に 5～6 回程度ですが、会員の方にはそれ以外の時にも演習林で活動していただくことができます。ただし、職員の勤務時間内（平日の 08:30-17:15）に限るほか以下の条件があります。

1. 保険について

森林ボランティア協会の保険では 3 日前までに代理店への事前告知が必要です。保険対象外の場合でも動力機器を使う作業以外は可能です。

2. 活動予定と事前連絡

演習林スタッフの作業予定はできるだけグーグルカレンダーに入れますので、参加希望の活動があれば遅くとも平日の前日までにご連絡ください。ただし、「メールつうしん」などでお手伝い募集のお知らせがある場合には、そこに書かれている連絡期限などを優先します。

3. 演習林スタッフとの連携

基本的には演習林スタッフといっしょに活動してもらいます。安全確保のためにも、演習林スタッフと十分に打合せた上で、活動開始後も必ず演習林スタッフの指示にしたがって下さい。

その他、八雲にある図書資料をご覧になりたい場合などもご相談下さい。会員同士で誘い合って独自に活動するのも歓迎です。



森の恵みの会に参加して

成沢健二

モーターパラグライダー [パワードパラグライダー] で八ヶ岳の雄大な高原の上空を飛びたくて野辺山の友人宅に出入りして 16 年余り。電波塔のパラボナを上空から見たり (本来はまずかったかも…) 赤岳山頂付近の小屋まで飛んで行ったり素晴らしい景色を堪能してきました。

パワードパラグライダーは骨組みの無い翼 (パラシュートのような翼) でちょっとしたつむじ風でも怖い思いをします。風にデリケートなスポーツなんです。風は地形や高度によって左右され、一般的に海岸付近では安定した風が入りフライトし易く逆に内陸の高地では地形や日照によって風の動きが複雑で玄人でも難しいものです。ですが、私は海より山の方が好きですね。特にこの野辺山は四季風景も豊かですし、何度フライトしても飽きない情景があります。最近はメタボにより、体重も増え気味でちょっとしたつむじ風で怖い思いをしてからのトラウマが抜けずこしばらくフライトしていません。そこでこの高原内で他にもたくさんの趣味やイベン



トしたくてウェブサイト観ていたら、森の恵みの会を発見！で参加した次第です。

まず驚いたのが実習林の広さ。この上空を飛んでも驚きです。今度はこの自然を一般人の私達でも散策できる機会を与えてもらえるならお手伝いしたいなあ〜と考えました。とはいっても都内の現役サラリーマンでして休みの度に都合も多い年齢でもあります。結局、初回の山菜と薪割りイベントしか出席できていませんが今後は積極的に参加していこうと考えています。やはり参加メンバーの出会いは楽しいですね。皆さん豊富な経験をされてきた方達だと思いますので、お手伝いや研究以外でも交流する時間が欲しいですね。



1 年を振り返って

まったくの手探りで会を立ち上げて、1 年足らずで 56 名の会員を擁するまでになりました。参加者数は、6 回のイベントに 149 人、イベント以外の研究・業務補助に 56 名です。見栄えの良い会報を 6 号発行できましたし、チャットワークを使った会員同士の情報交換も軌道に乗ってきました。

もちろん反省点も多々あります。会の活動がイベントに偏りすぎたところがありますので、今後は八演の研究調査や作業に参加しやすくすることや、会員の自

主活動を促すことにも力を入れます。ただ、急ぐことはありません。会報第 1 号にも書いた通り、楽しく、息長く続けることが一番大事なことでと考えています。

最後に、大学側の体制変更についてお知らせです。筑波大学演習林は農場と並んで農林技術センターの一部門でしたが、新年度からは農場とは分かれ、菅平高原実験センターといっしょに山岳科学センターとして生まれ変わります。菅平ではボランティア会が活動していますので、そのうち交流の機会が持てるかもしれません。(藤岡)

会員継続のお願い

森の恵み会は年会費制で、会計年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までです。会員の皆さまには次年度もぜひ継続していただくようお願いします。イベント等に一回も参加できなかった方も、次の機会に備えて継続していただければ幸いです。一般会員の方は次年度分の年会費 2,000 円を下記の口座に払い込みいただく

か、イベント参加時に事務局に直接お支払いください。

・郵便局の払込用紙にて：00530-9-102585 八ヶ岳森の恵み会

・銀行から：ゆうちょ銀行〇五九店、当座 0102585

なお、退会したい場合には、お手数ですが、事務局にメールや電話にてご一報ください。特に連絡がない場合には継続扱いとさせていただきます。

八ヶ岳 ちょっと寄り道

本コーナーの愛読者でしたが、とうとう自分でも執筆することに。第 1 弾はオイスターバーです。山荘の近所に美味しい魚介を食べられる店がない、と不満をこぼしていたら、妻がこの店を見つけてくれました。ドーム型のこぢんまりとした店構え。山の中で牡蠣？と思われるかも知れませんが、産地直送の牡蠣がフライやアヒージョなど様々な調理法で味わえます。一番のお薦めは、その場で殻を剥いてくれる鮮度抜群の生牡蠣数種の食べ比べセットで、白ワインを合わせると至福のひとつき。ランチはアジアン・エスニック料理が中心で、妻のように牡蠣は苦手という方も安心です。(加藤玄)



COZYSHITA コジシタ八ヶ岳

山梨県北杜市大泉町西井出 8353 Tel. 0551-38-3070

木～土曜のみ営業。営業時間 11:30～14:30、17:00～21:30

お知らせ

次号は 2017 年度最初の会報です。少し間が空きますが、5 月下旬に発行予定です。

会員からの投稿も歓迎します。事務局または藤岡まで原稿や写真などをお送りください。メール添付でも

郵送でもけっこうです(郵送の場合、写真などは原則として返却しませんのでご了承ください)。

■ 表紙の写真と文

樹霜：杉山昌典(恵みの森管理棟前のドウダンツツジ
枝先 2016 年 3 月 10 日)

